

令和4年度課題別研修Ⅲ 「自己覚知～勇気づけを利用者支援に活かして～」開催要綱

- 【1. 目的】** 自己覚知とは、自分自身の感じ方・考え方の傾向、技術や知識について、自分自身で理解することを意味します。対人援助職である福祉の現場において、自分の感情や態度をコントロールするためには、自らの個性や、性格、感じ方・考え方の傾向を理解することが求められます。
本研修では、アドラー心理学の「勇気づけ」を学び、支援者自身が利用者支援にあたる際に沸き起こる感情などを自覚し、自分自身や同僚、利用者に対して勇気づけを実践する力を身に付け、もって円滑な人間関係の構築に寄与します。
- 【2. 主催】** 社会福祉法人三重県社会福祉協議会
- 【3. 実施形式】** 集合研修
- 【4. 開催日時】** 令和4年9月22日(木) 13:30～16:30 (受付開始 12:45～)
- 【5. 会場】** 三重県社会福祉会館 3階 講堂(〒514-8552 津市桜橋2丁目131)
- 【6. 対象・定員】** 対象:県内社会福祉施設職員
定員:60名 ※定員に達し次第、募集を締め切ります。
- 【7. 講師】** 町のお母さん保健室 Hidamally / 自己肯定感育み専門 Being up 協会
代表 澤田 有心子 氏

【略歴】

子育てに散々悩み、アドラー心理学を実践。思春期の息子たちと親子で乗り越えた経験を財産として、2012年より家族の絆を応援する現在の活動開始。これまで約3,000人の方に届けている。2018年には、自己肯定感の育みに特化したBeing up教材を開発し、子育て経験をキャリアに育てる養成講座を開催。ママ達の母性開花・専門的に育ち合うコミュニティ作りに力を注いでいる。

【8. プログラム】

時間	内容
12:45～13:20	受付
13:20～13:30	開会・オリエンテーション
13:30～16:30	○なぜ、自己覚知能力が必要か？「現状を把握する」 ○何が、起きているのか？「問題の根本を紐解く」 ○どうすればよいのか？「自己覚知能力を伸ばす3つのSTEP」 ・STEP 1 目指す山を明確にする。 ・STEP 2 アドラー心理学の理論で心の仕組みを理解する。 ・STEP 3 今すぐ実践！勇気づけの基礎と応用。
16:30	閉会

※1時間に1回程度、小休憩をお取りします。

- 【9. 受講料について】** 1名あたり4,000円
※当日、受付にて現金でお支払いください。

【10. 申込方法】

・令和4年9月8日(木)までに、下記の方法でお申込ください。

(1)申込フォームから申込(QRコードまたは下記URL)

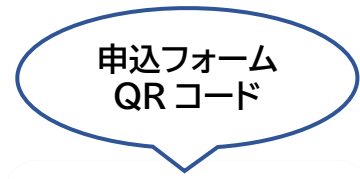
★URL:<https://forms.gle/QRDqDbbQu9a31VGX6>

(2)別添の参加申込書に必用事項をご記入の上、

FAXまたは郵送で事務局へ送付

※申込は先着順で受け付けます。

※定員を超えた場合は受講をお断りする場合がございます。



【11. 受講に際しての注意事項】 ※必ずお目通しください

- (1)申込は人数単位で受け付けます。必ず受講人数分の受講料をお支払いいただきますようお願いいたします。
- (2)受講者には、開催日の概ね1週間前に「受講決定通知書」をFAXにて送付いたしますので、当日は御持参の上、受付にて御提示ください。
- (3)台風や感染症等により、受講者の安全が危惧される場合、研修会の開催を中止(延期)する場合がございます。中止(延期)する場合は、開催日の前日の午後5時までに三重県社会福祉協議会ホームページ(<https://www.miewel-1.com/>)のお知らせ欄に中止(延期)情報を掲載しますので各自ご確認ください。

【12. 新型コロナウイルス感染症対策について】 ※必ずお目通しください

- (1)参加予定人数 最大60名(別途事務局3名、講師1名あり)
- (2)会場詳細 三重県社会福祉会館 3階 講堂(定員140名)
- (3)開催時の対策
 - ①会場出入口に検温器およびアルコール消毒液を設置いたしますので、受付時および会場を出入りされる際に御協力ください。
 - ②研修会当日はマスクを御持参の上、御着用ください。
 - ③研修会実施中は定期的に窓を開けるなどの換気を実施します。
 - ④研修会当日に発熱や風邪等の症状がみられる場合には、参加の自粛に御協力ください。
 - ⑤感染拡大状況により、開催を中止・延期する場合や、オンライン形式にて実施する場合がございますので、予め御了承ください。

【事務局】

社会福祉法人三重県社会福祉協議会 福祉研修人材部福祉育成支援課 社会福祉研修センター
〒514-8552 津市桜橋2丁目131 三重県社会福祉会館2階
TEL:059-213-0533 / FAX:059-222-0305 / E-mail:kensyu@miewel.or.jp